



2023年5月15日

各 位

会社名 昭和ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者  
 此下 竜矢  
 (コード番号 5103 スタンダード市場)  
 問合せ先 代表取締役最高執行責任者兼  
 最高財務責任者 庄司 友彦  
 (TEL. 04-7131-0181)

### 個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、2023年3月期の個別業績値と前期実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期個別業績と前期実績との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	407百万円	▲201百万円	▲723百万円	▲9.54円
当期実績(B)	418百万円	▲133百万円	▲409百万円	▲5.41円
増減額(B-A)	10百万円	67百万円	313百万円	4.13円
増減率 (%)	2.49%	—	—	—

#### 2. 前期実績との差異理由

2023年3月期の実績につきましては、売上高は僅かに増加し、418百万円となりました。これは主に、当事業年度においても、前期に引き続き新型コロナウイルス感染症のまん延防止策等の影響で、その業績に下方のインパクトがあった当社連結子会社に対し、経営指導料収入の一時減額措置は継続しているものの、業績が堅調な子会社からの経営指導料が増加したことによるものです。

経常利益につきましては、当事業年度において、主に当社に係属する裁判に係る訴訟関連費用が減少(127百万円から72百万円に減少)したことが、増益に寄与し▲133百万円となりました。

また、当期純利益につきましては、前期と比較し313百万円増加し、▲409百万円となりました。これは主に、当事業年度において、当社グループ本社・工場(千葉県柏市十余二)の有形固定資産の減損を実施する減益要因はありましたが、前期、当社の保有する㈱ウェッジホールディングス(東京証券取引所JASDAQ(現 グロース)市場上場)株式について、市場取引価額にて株価評価を実施し関係会社株式評価損610百万円を計上していたものが、当事業年度おきましては不要であったことが、当期純利益の改善要因となりました。

以上